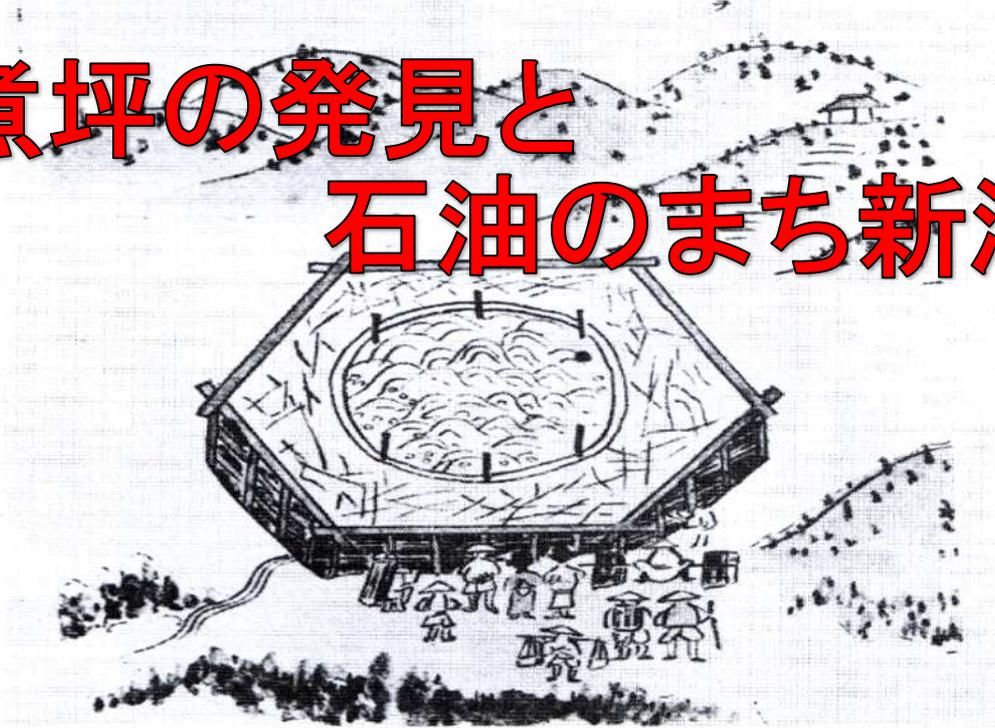


“石油と新津”

～煮坪の発見と石油のまち新津～



石脳油煮エ壺之図（『北越薬泉』所有より）

何故、江戸初期に加茂在住の真柄仁兵衛が新津の煮坪を発見したのか？ 何故、新発田藩の許可を得てから、開発、運上金を納めるまでに15年もかかったのか？ 江戸後期から石油業に参入した中野家は明治初期には不採算に悩まされます。何故、日本の石油王と言われるまでになったのか？ 本講座のメインテーマ「石油と新津」をお楽しみください。

日程	テーマ	講師
9/20 (金)	真柄仁兵衛の煮坪の発見 ～真柄家と新発田藩～	「にいつ町歩き ガイド」 本田富義さん
9/27 (金)	新津油田の発展と中野家の隆盛と衰退 ～地方財閥と社会貢献～	
10/4 (金)	文芸誌に掲載された早蕨の「石油噴油」から見える情景 ～第2次全盛期と小口油田～	
10/11 (金)	新津の製油所 ～製油技術の推移と製油所の統廃合～	

◇開催日時 令和6年9月20日(金)、27日(金)、10月4日(金)、11日(金)
全4回 午前10:00～正午 受付9:30～

◇会場 新津地区公民館 3F 305 研修室

◇対象 先着30人程度 18歳以上(高校生除く)

◇参加費 無料

◇申込方法 新津地区公民館へ電話で申込み (平日午前9時～午後5時)

電話：0250-22-9666

受付期間 令和6年8月21日(水)～9月4日(水)

石油と新津について写真や絵図から見ます

江戸時代から昭和にかけて新津では石油が産業として注目されてきます。採掘や石油を取り巻く情勢を色々な方面から検証してみます。

真柄仁兵衛と煮坪の発見

9/20(金)

越前出身の浪人で加茂在住の真柄仁兵衛が煮壺を発見し、江戸中期まで新発田藩から独占的な販売権を得ますが、後期には採油不足に陥ります。当日の講座で真柄家の活躍を取り上げます。

新津油田の発展と中野家の隆盛と衰退

9/27(金)

江戸後期、金津の庄屋「坂井家」から採掘権を買い上げますが、明治初期の経営不振から上総掘りの採用により石油事業が隆盛へ向かいます。後に地方財閥と呼ばれるようになり、中野財団の設立など社会貢献にも力を発揮した中野家を紹介します。

文芸誌に掲載された早蕨の「石油噴油」から見える情景

10/4(金)

明治43年文芸雑誌「女子文壇」に掲載された柄目木の真柄ヒロの「石油の噴油」から、噴上げる情景や関わる人たち、町の情景を紹介します。明治後期に新津油田の最大採油量を小口地区で記録し、日本最大の油田となった過程を紹介します。

新津の製油所

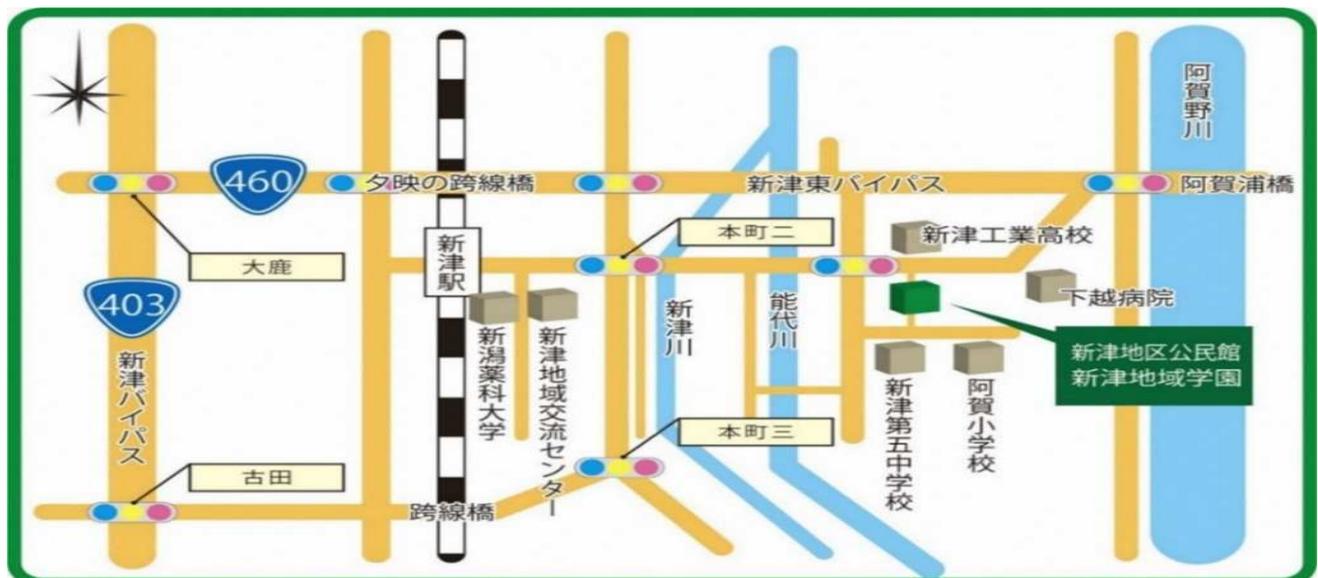
10/11(金)

江戸初期の原油から水と油を分離する方法から進化する精製の技術の変化、やがて原油採油量の減少、戦争による帝国石油の設立で新津を拠点とした石油業の統合を紹介し

*** お知らせ・お願い ***

- ・全4回参加される方が優先になります。代理出席はできません。
- ・体調不良の方の参加はご遠慮下さい。

会場案内図 ～新津地区公民館（新津地域学園内）～



■主催・申込み・問い合わせ先■

〒956-0816 新潟市秋葉区新津東町 2-5-6
新津地区公民館（新津地域学園内）
☎ 0250-22-9666

新津地区公民館
ホームページ

